

## 第2回 柳瀬川回廊事業推進検討委員会（議事要旨）

[日 時] 平成28年10月19日（水） 10:00～16:00  
[場 所] 中里地域市民センター 会議室2  
[出席者] 委 員 11名 一般公募委員1名欠席  
事務局4名 清瀬市 都市整備部 水と緑の環境課

### [議事次第]

- (1) 現地視察の説明（中里地域市民センター）
- (2) 現地視察（野塩～清瀬橋）  
昼 食
- (3) 現地視察（中里～下宿ビオトープ公園）
- (4) 検討箇所についての提案（中里地域市民センター）
- (5) 次回日程について

[配付資料] 次第（1頁）、10月19日視察タイムスケジュール（2頁）、  
今後の検討のための資料（福嶋委員長 作成）（3、4頁）、回廊地図

### (1) 現地視察の説明

委員長 配布資料の3、4頁目について、Aの2「整備課題と整備方針」は、これまで市が提案してきたことですので、それが機能しているかを見ていかななくてはなりません。Aの3「整備後の課題」は、大きいもの、小さいものありますが、今後整理していかななくてはなりません。Cの1はこれから特に考えたいことで、この10年でどこができて、どこができなかったのか、整理し、今後どう進めるか、レビューする必要があります。Cの2「検討する内容」も、委員の意見をいただきながら、事務局に整理してもらする必要があります。

### (4) 検討箇所についての提案

#### 提案：回廊の支線について

委員A 回廊の範囲を広げられるのであれば、梅坂橋よりも南にあるキツネノカミソリがある市有林は車で廻って見てもらいましたが、その近くの円福寺にある「琵琶懸の松」もコースに入れてほしいので、梅坂橋よりも1つ上流にある薬師橋まで範囲を広げることも検討していただければと思います。

委員B キツネノカミソリの緑地（空堀川右岸・柳原橋付近）も寄附されたので、一直線にはつながらないが、寄り道できるように、ということで考えられます。

委員長 それは良い考えです。メインのルートは今決まっているので、「支線」を出して見てもらうということも考えられます。

#### 提案：看板や表示の更新について

委員C 今ある回廊を充実させることも重要です。説明用の看板や案内の老朽化が進

み、薄くなるなど見づらいものが多いです。

**提案：回廊付近の植生管理・外来種などの繁茂などについて**

委員D 梅坂橋下流で、15年ほど前にヤナギやヨシを植えたが、無残な姿になっていました。今の状態は、何も手入れができていない状態です。親水空間にするために作られた親水階段から水辺まで段差もできて親水性がなくなっています。自然に任せて良い部分もあるが、河川改修により、手を加えていかないと維持できない環境になりました。市にもバックアップをお願いしたいです。

委員長 私が気になったのは、通路に帰化植物が非常に多かったという点です。せせらぎ公園などの親水空間は、基本的には帰化植物がないほうが良いと感じます。クズの繁茂も同様です。

**提案：台田の杜を含めた周辺の活用について**

委員D 台田の杜や寄附された土地は、中に基本的な看板や案内がなく、アピール不足を感じます。また、柳瀬川通り沿いの入口に、公園と一目で分かる看板やサインがあると、通行人も「少し寄ってみよう」という気になると思います。

委員B 寄附された土地は、農地や駐車場として貸している場所もあり、その貸借契約が終了後、委員の意見を踏まえてサインなどを整備していく予定です。

委員E 地図のBが飛び地になっているので、難しいかもしれないが、台田の杜と連なる土地とB南側を交換してつなげ、台田の杜を拡張できれば良いと思います。

委員F 伊藤氏の「花を植えてほしい」という意向を受けて、コスモスの群生が市内にはないので、コスモス畑というのはどうでしょう。

委員A ネム、コブシや、シンボルツリーとしてユリノキなどの花木を植えたいです。

委員長 注意しなくてはならないのは、住宅のそばに木を植えるときは、大きくなったときの日影など、トラブルになるので、管理のことを考えなくてはなりません。具体的な考えを、次の段階でイメージが湧くような形で紹介してください。

台田の杜に関して感じたことは、台田の杜のお墓から柳瀬川に向かったところは、一つのタイプになってしまっています。木の大きさも均一になってきているので、変化を持たせた方が良いです。

委員G 市民の財産になるのだから、自然に従おうが、人工的に植えようが、考え方は様々あるので、市民の中での折り合いが大事だと思います。あとは管理の手間のかからないものが良いです。とにかく、管理費ができるだけかからず、年齢に関わらずみんなに喜ばれるものが良いと思います。

日本には四季があるので、四季を感じられるものは喜んでもらえると思います。見ごろの季節に限られるのは寂しいように感じます。

委員長 寄附された土地はエリアで分けて使うと、いう考えは大事だと思うので、どういう使い方をしていくか、委員会からの提案に載せたいと思います。

委員B C～Eは距離も近いので、四季折々の花や花木を楽しんでいただけたほうが、外からの来訪者など、より多くの人に回廊を楽しんでいただけたと思います。視察中、委員Hから、「花のある公園であれば、球根を植えるなども考えられ

るが、維持管理もかかってしまう。そこで、例えば、生け花をやっている団体に期間を決めて貸し出して、花を植えてもらい、伊藤氏の家屋で作品展を行うということで、維持管理もその団体に請け負ってもらう」という提案を聞き、その手もあるかと感じました。委員Gが心配するように、維持管理がネックなので、どう抑えていくかを考えなくてはなりません。

#### 提案：回廊周辺の樹木剪定について

委員A 清瀬駅からのアクセス道であるけやき通りの剪定の仕方も味気がなく、心の豊かさが感じられません。秋津駅からも同じで、河川管理通路の木の剪定の仕方、樹形を活かした剪定はお金もかかることだろうと思うが、回廊の道筋でもあります。今日視察した野塩の崖線林も同様です。もう少しみどりのサポーター制度を活かしたり、業者に頼めないでしょうか。今ある木の樹形を守って、美しく見ていただきたい。

委員長 樹形に関しては、それなりの管理をしていかないと、市の姿勢が疑われます。前回、委員Gから提案のあった道の追加についてはいかがでしょうか。

委員B 雰囲気としては良く、散策の場所になると思います。

委員H 崖線の上からだど、崖線の豊かな植生が見られません。

委員B 散策を楽しむ、市内を回遊していただくことが目的なので、指定しても問題はないと思います。

#### 提案：トイレの検討について

委員H 一点、回廊そのものが、色々なところから来てもらう意味合いもあると思いますが、トイレが非常に少ないです。どこの観光地に行っても、トイレが汚いとお客さんは来ません。地域市民センターのトイレもあるが、休館日・閉館時間などで、使いたいときに使えないことも多いです。回廊で人を呼ぼうとするのであれば、最低条件を満たしていない状況なので、検討が必要です。

委員G 今日通った下宿の運動場のトイレを使えるように、その辺りをコースに入れて、既存の野球場のトイレを取り込んではどうでしょうか。

#### 提案：次回までの宿題について（事務局・委員）

委員長 宿題として、事務局は、コースの見直し案の図面を次回までに作ってください。委員からでた横断歩道や拡幅の提案があった所も含めます。また、委員への宿題として、寄附された土地A～Eの使い方を各々で考えてきてください。一般論ではなく、A～Eの場所ごとに、できるだけ具体的にお願いします。

#### 提案：中里団地付近の都有地について

委員A 中里団地付近の都有地は、十数年原っぱのままなので、植栽していくことを都にはたらきかけることはできないでしょうか。

事務局 現在、小金井街道側の1箇所は、菜の花畑として期間を区切って借用していますが、その1箇所も更新が難航しているような状況です。

#### (5) 次回日程について

各委員のスケジュール確認後、11月22日午後1時30分に決定。